

○ 北海道総合開発計画の推進 ○

令和6年3月に閣議決定された第9期北海道総合開発計画の2つの目標に向かって、道北地域がめざす姿を共有し多様な主体と連携・協働して、各種の施策を推進していきます。

共に北海道の未来を創る
第9期北海道総合開発計画

道北地域のポテンシャル

豊富な農産品と食文化



お米



グリーンアスパラ



カボチャ



そば

魅力的な観光資源



青い池(美瑛)



ラベンダー



樹氷(ピヤシリ山)



カヌー(天塩川)

ゼロカーボンに向けた取組



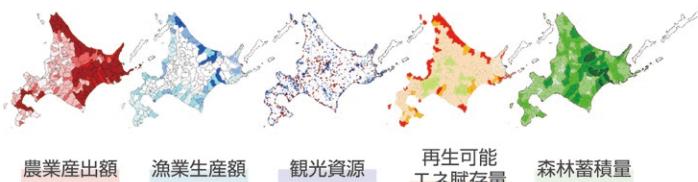
一の橋バイオビレッジ(下川町)



小水力発電(当永発電所)



北海道の価値を生みだす「生産空間」は主に地方部に存在



目標 1 我が国の豊かな暮らしを支える北海道 ～食料安全保障・観光立国、ゼロカーボン北海道

1. 食料安全保障を支える農林水産業・食関連産業の持続的発展
2. 観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくり
3. 地球温暖化対策を先導するゼロカーボン北海道の実現
4. 地域の強みを活かした成長産業の形成
5. 自然共生社会・循環型社会の形成
6. 北方領土隣接地域及び国境周辺地域の振興
7. アイヌ文化の振興等

北海道の地域構造

圏域中心都市、地方部の市街地、生産空間の時間・距離を縮めるネットワークの強化とデジタル技術の活用が必要です。また、自然災害への対応として国土強靭化を急ぐ必要があります。

- 生産空間
- 地方部の市街地
- 圏域中心都市



対2024年問題対策「北海道物流WEEK」
(令和6年2月19日～22日)



目標 2 北海道の価値を生み出す北海道型地域構造 ～生産空間の維持・発展と強靭な国土づくり

1. デジタルの活用による生産空間の維持・発展
2. 多様で豊かな地域社会の形成
3. 北海道型地域構造を支え、世界を見据えた人流・物流ネットワークの形成
4. 生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靭な国土づくり

計画の実効性を高めるための方策

- 官民の垣根を越えた「共創」
- 社会変革の鍵となるDX・GXの推進
- フロンティア精神の再発揮
- 戦略的・計画的な社会資本整備

○ 防災対策 ○

① 災害支援



令和6年能登半島地震におけるTEC-FORCEの活動
(令和6年1月石川県)
ドローンによる被災状況調査(砂防班)

被災した地方公共団体へ緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)を派遣し、災害情報の収集や被災状況の迅速な把握、被害の拡大防止、被災地の早期復旧等に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に行います。

② 防災訓練



十勝岳の噴火を想定した関係機関との合同訓練
(令和6年2月)

災害に備え、気象台や自衛隊、北海道、市町村などの関係機関と連携し、地震、洪水、火山噴火などを想定した防災訓練を行っています。